

ワクワク！

治田小 学校だより

2025年9月1日
栗東市立治田小学校
NO. 7

待ちに待った学校が始まります！

暑くて長い夏休みが終わりました。子どもたちはそれぞれに思い出深い夏休みになったのではないかと思います。夏休み中のある日のこと、出会った子どもが「校長先生、こんにちは。先生、僕、読書してるで！」と元気よく話してくれました。夏休みに入る時には読書・睡眠・体験を十分してほしいという願いをお伝えしましたが、そんな子どもの一言をととてもうれしく感じました。

9月～12月の期間には、運動会や校外学習、やまのこ、修学旅行など、たくさんの学校行事や、読書月間、人権集会など、様々な学習がダイナミックに展開されます。子どもたちにはワクワク・ドキドキしながら取り組んでほしいと思います。

残暑厳しい中、子どもたちは学校生活のリズムになれるのにも時間がかかると思います。9月はからだもしんどい上に、心も疲れがたまりやすい時期でもあります。お子さまの様子を十分観察していただきながら、引き続き基本的な生活習慣を大切に、元気に登校できるようご支援をよろしくお願いします。



校長のひとこと

夏休みの期間中に、東京オリンピック競泳女子 200m・400m 個人メドレーで金メダリストとなった、彦根市出身の大橋悠依さんの講演を聴く機会をいただきました。演題は、「夢を追い続ける力 ～滋賀からゴールドメダリストに～」ということで、ご自身が水泳を始めた幼少のころから、金メダリストになるまでの道のりを、様々なエピソードをまじえてお話してくださいました。その中で印象に残ったのは、やる気を持続させるためには、**目標と目的をしっかり持つ**ことが大切だとおっしゃったことです。例えば目標は「金メダルを取る。」とすれば、目的は「何のために金メダルを取るのか。」「金メダルを取ってどうしたいのか。」ということを具体的に描くことだそうです。そしてそれをどんどん具体的な行動目標に掘り下げていき、日々の努力につなげていくことで、モチベーションを保ちながら自身を高めることにつなげていくということでした。また、ご自身が大切にされてきたこととして、「誰にでも応援してもらえる選手になる。」ということを挙げられました。選手としての成績を残すためには、まずその土台として、ひとりの人間として成熟しないといけないとの考えからだと思います。他にもたくさんの示唆をいただけるお話がありましたが、その一部を紹介させていただきました。

このように同じ滋賀県で育った先輩が、世界で活躍されることは本当にうれしいことです。大橋さんからは、治田小学校のみなさんにも自分の好きなことを見つけて、ぜひがんばってほしいとエールをいただきました。サイン色紙については、職員室の前あたりに掲示しますので、機会があればご覧いただければと思います。

